



POWER SUPPLY
PW 5000
for PM5000 Series
取扱説明書

このたびは、ヤマハ パワーサプライPW5000をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

PW5000は、ミキシングコンソールPM5000シリーズ専用の電源ユニットです。

PW5000の優れた機能を使いこなしていただくために、

この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。

また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、

大切に保管されますよう重ねてお願い申し上げます。

* この取扱説明書に記載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

* この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

接続



必ず実行

アース(接地)を確実にこなう。
電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

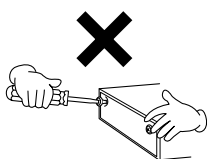
分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

注意

電源/電源コード



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

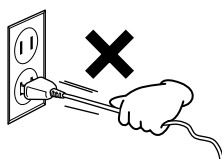
感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源のオン/オフは、必ずこの機器のPOWERスイッチで行なう。

電源コードの抜き差し、OAタップのスイッチ、プレーカのスイッチなどでオン/オフはしないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

この機器のPOWERスイッチを素早くオン/オフしない過大電圧によりこの機器が損傷する場合があります。

POWERスイッチをオフからオンにする場合は、5秒以上の間隔を空けて行ってください

設置



必ず実行

この機器を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。
この機器が落下して破損したり、お客様や他の方々がけがをししたりする原因になります。



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常なにおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをししたりする原因になります。



禁止

この機器の通風孔をふさがない。
内部の温度上昇を防ぐため、この機器のフロントパネルとリアパネルには通風孔があります。特に、この機器をひっくり返したり、横倒しや前後逆さまにしたり、風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

この機器を壁や他の機器につけない。
放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁や他の機器から後ろに15cm、上に15cm以上離してください。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。
感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。



必ず実行

アース(接地)を確実に行なう。
この機器のリアパネルには、感電を防ぐためのアース端子があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース端子をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。

使用時の注意



ご注意ください

この機器の通風孔やパネルのすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔やパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

この機器の上ののりたり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをししたりする原因になります。

PM5000との接続には、PM5000本体に付属のケーブルをお使いください。また、PW5000を2台並列接続させる場合には、もう一台のPW5000と別売の電源リンクケーブルPSL5000も併せてお使いください。

この機器は、PM4000シリーズやPM3500シリーズの電源PW4000、PM1Dの電源PW1Dの代わりには使用できません。電源コネクタの形状は同じですが、使用電圧やピン配列が異なります。

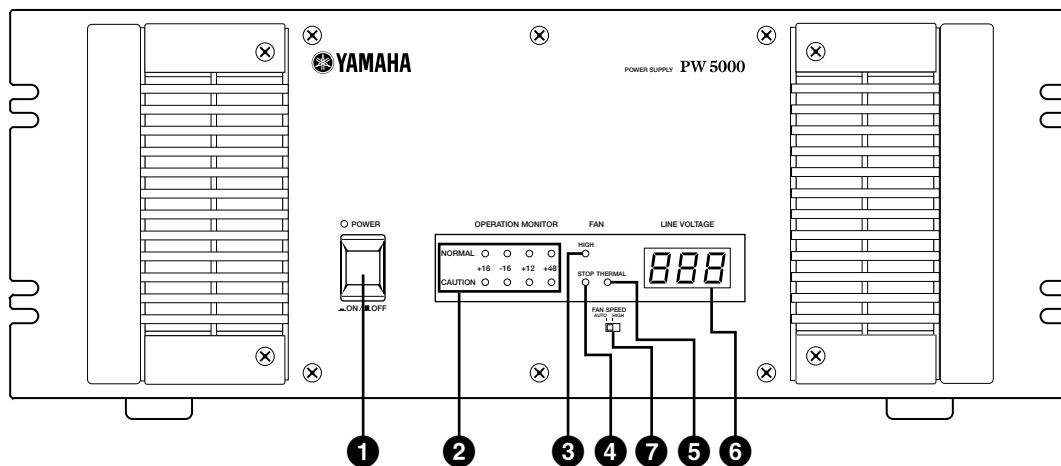
不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

スイッチ、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

各部の名称と機能

■ フロントパネル



① POWER ON/OFFスイッチ

PM5000本体に付属のケーブルでPM5000と接続し、電源プラグをACコンセントに接続したあと、このスイッチをONにするとPM5000に電源が供給されます。

② OPERATION MONITOR

PM5000に供給している4種類の電源の状態を示します。正常時は緑色のNORMALインジケータが点灯しています。異常が発生した場合は、該当する電源の赤色のCAUTIONインジケータが点灯し、状況に応じて電源がシャットダウンされる場合もあります。

CAUTIONインジケータが点灯した場合、シャットダウンされてもCAUTIONインジケータは点灯したままになります。どの電源のCAUTIONインジケータが点灯したかをメモした上で、POWER ON/OFFスイッチをオフにして、お買い上げの販売店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

③ HIGHインジケータ

強制冷却用ファンが最高速度で回っている場合に点灯します。以下の2つの場合に最高速度となります。

- FAN SPEEDスイッチがHIGHに設定されている場合

- FAN SPEEDスイッチはAUTOに設定されていて、PW5000の内部温度が高い場合(この場合はTHERMALインジケータも点灯します)

④ STOPインジケータ

強制冷却用ファンが止まっている場合に点灯します。

⑤ THERMALインジケータ

PW5000の内部が一定の温度以上になると点灯します。その場合は、放熱が不十分であると考えられるので、設置場所を見直してください。

⑥ LINE VOLTAGE

AC電源の電圧を表示します。POWER ON/OFFスイッチに関係なく、電源プラグがACコンセントに接続されていれば必ず表示します。

⑦ FAN SPEEDスイッチ

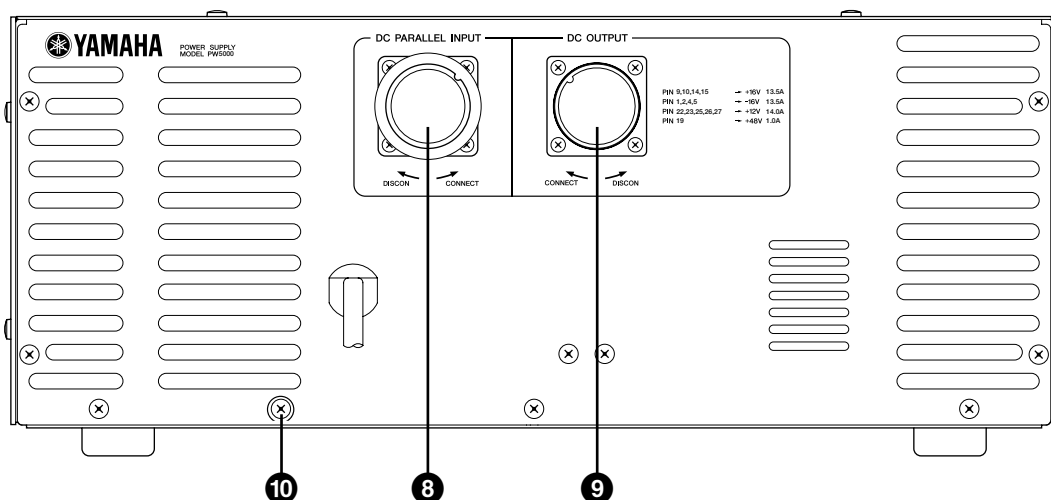
強制冷却用ファンの回転速度を調節します。AUTOに設定すると、PW5000の内部温度に応じてファンの回転速度が3段階で変化します。3段階のうち最高速度の場合は、THERMALインジケータも点灯します。HIGHに設定すると、内部温度に関係なく常に最高速度でファンが回転します。



禁止

フロントパネルとリアパネルには強制冷却用ファンの通風孔がありますので、ふさがないようにください。

■ リアパネル



⑧ DC PARALLEL INPUTコネクター

2台のPW5000を並列接続するための端子です。2台のPW5000を接続すると、電源の負荷を分散したり、一台のPW5000がトラブルでシャットダウンしても残りのPW5000で電源を供給し続けたりすることができます。

必ず別売の電源リンクケーブルPSL5000をお使いください。左回しで接続、右回しで取り外しができます。

⑨ DC OUTPUTコネクター

PM5000と接続してPM5000に電源を供給するための端子です。並列接続用の電源として使用する場合は、メインのPW5000のDC PARALLEL INPUTコネクターと接続します。

PM5000との接続には、必ずPM5000本体に付属のケーブルをお使いください。並列接続用の電源として使用する場合は、メインのPW5000との間で、別売の電源リンクケーブルPSL5000をお使いください。右回しで接続、左回しで取り外しができます。

⑩ アース用ネジ

安全にお使いいただくため、このネジでアースを確実に取ってください。電源コードにはアース線がついているので、ACコンセントが接地されていればPW5000は電源コードから適切にアース接続されます。コンセントがアースされていない場合は、このネジから確実にアースを取ってください。また接地を正しく行なうと、ハムノイズ、干渉ノイズなどを効果的に除去できます。

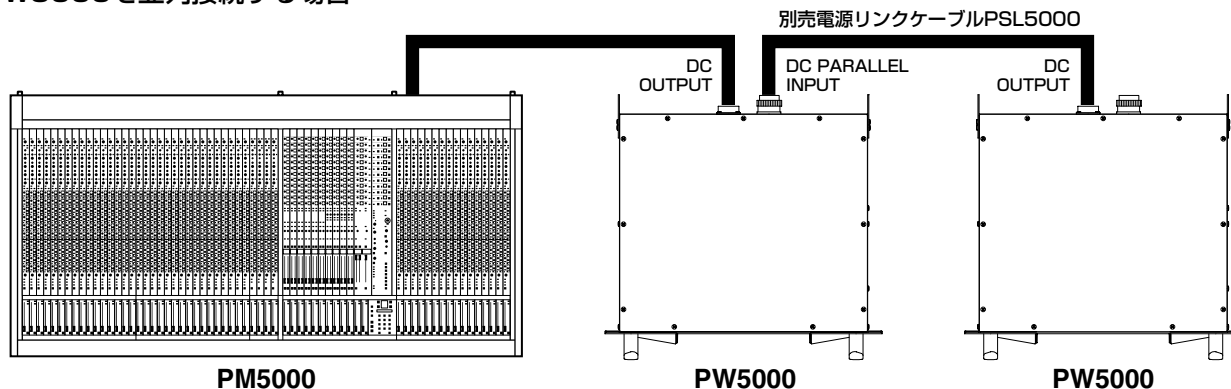


必ず実行

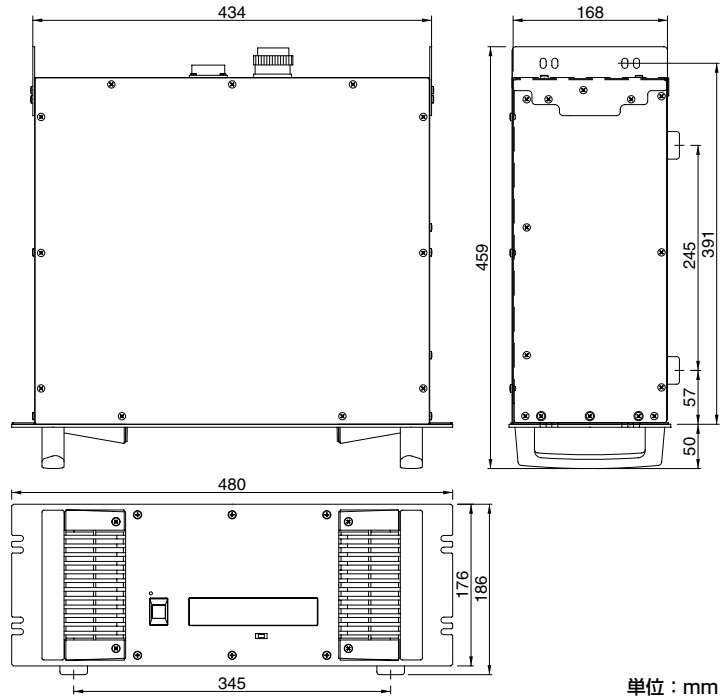
サイドパネルのリア両側部には、ラックに固定するための穴が空いています。

ラックにマウントする場合は、ラックのサイズに合った取り付け用の金具をご用意いただき、フロントパネルとともにリアパネルも固定してください。

PW5000を並列接続する場合



■ 寸法図



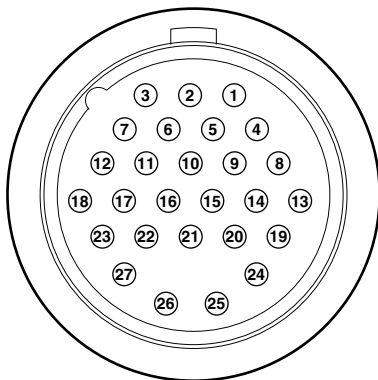
単位：mm

■ 仕様

一般仕様

電源	100V, 50/60Hz
消費電力	1100W
外形寸法 (W x H x D)	480mm x 186mm x 459mm
質量	34kg
冷却ファン速度	HIGH (常時最高速度), AUTO (3段階で変速)

電源コネクターの形状 (DC OUTPUT)



* DC OUTPUTコネクタをリアパネルから見た図です。
DC PARALLEL INPUTコネクタは、ピン配列が左右
反対になります。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
この製品は、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合して
います。

電源ケーブルのピン配列

No.	Function	No.	Function
1	-16V	15	+16V
2	-16V	16	± 16V GND
3	FRAME GND	17	+12V GND
4	-16V	18	+12V GND
5	-16V	19	+48V
6	± 16V GND	20	PW CAUTION
7	+12V GND	21	± 16V GND
8	REMOTE	22	+12V
9	+16V	23	+12V
10	+16V	24	+48V GND
11	± 16V GND	25	+12V
12	+12V GND	26	+12V
13	REMOTE	27	+12V
14	+16V		

サービスについて

■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

●お客様ご相談窓口: ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663(電話受付=祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

●営業窓口

EM営業統括部企画推進室(プロオーディオ)

Tel: 03-5488-5472 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

PA・DMI事業部PE営業部CA営業課

Tel: 053-460-2455 〒430-8650 浜松市中沢町10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点: 修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスステーション Tel: 011-512-6108 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内

仙台サービスステーション Tel: 022-236-0249 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

首都圏サービスセンター Tel: 03-5762-2121 〒143-0006 東京都大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル14号棟A-5F

浜松サービスステーション Tel: 053-465-6711 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階

名古屋サービスセンター Tel: 052-652-2230 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

大阪サービスセンター Tel: 06-6877-5262 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内

四国サービスステーション Tel: 087-822-3045 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内

九州サービスステーション Tel: 092-472-2134 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4

本社/CSセンター Tel: 053-465-1158 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階

※所在地・電話番号などは変更されることがあります。

PA0302

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

ヤマハ株式会社

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation

© 2003 Yamaha Corporation

WA44900 0306MWAP2.1-01A0 Printed in Japan